

4. 設備関係

(1) 空調設備

- ・専用室内の空調設備の基準運転時間（コア時間）は、中央監視室からスケジュール運転制御されています。
- ・専用室内温度設定は「空調リモコン」にて、室内が快適な状態になるようにテナント様にて設定操作願います。
- ・地球温暖化防止の観点から、冷房26.0℃、暖房23.0℃を目安に設定願います。休日や無人の場合は、一定の条件で省エネ運用を行います。
- ・基準運転時間は以下のとおりです。基準運転時間以外は「時間外運転」となります。「時間外空調運転」は、クラウドWeb「アズビルTenant Service」にて入力操作をお願いします。

https://b-cs-ts.azbil.com/#/stec-jbldg/sign_in

※クラウドWeb ご利用にあたっては、テナント付与ID、パスワードが必要です。詳細は管理会社までお問合せください。

基準運転時間

エリア	平日	土曜	日曜・祝日
事務所	9:00~18:00	9:00~13:00	時間外対応
店舗	個別対応	個別対応	個別対応

(2) 室内の温度調節

- ・専用室内の温度は、出入口付近に設置されている空調リモコンで調節（0.5℃刻み）が可能です。なお、運転/停止の操作はできません（空調機が稼働している場合、緑色灯が点灯します）。
- ・空調リモコンに貼付された番号（写真の場合は12）は温度調節する「空調エリア」を指しています。

空調リモコン



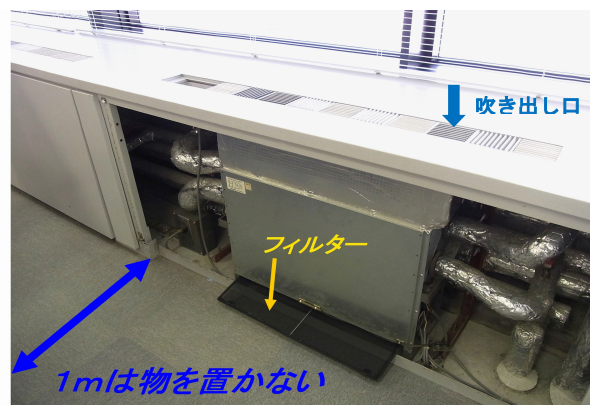
(3) 空調設備の運用上の注意

- ・快適で効率的な空調を維持するため、窓側「吹き出し口」は、物品や書類でふさがないようにください。書類や物品を空調設備の上に置く場合は、「吹き出し口」の位置にご注意ください。
- ・ビル東側空調ファンコイルユニット（3～27階）の風量は3段階の手動調節となっています。ダイヤル式の切替スイッチで調整してください。
- ・東側空調ファンコイルユニット下部にはフィルターが設置されており、管理会社が定期的に交換・清掃しています。フィルター交換の障害とならないよう、空調パネル面から1m程度は大きな荷物等を置かないようお願いいたします。
- ・メンテナンスが不可能と判断した場合には、機器を停止させていただくことがありますので、ご了承ください。

東側空調ファンコイルユニット（調整操作部分）



東側「吹き出し口」付近



- ・空調ファンコイルユニット用の「温度センサー」は、壁面に設置してあります。センサー近くに、物品や熱源（OA機器の排熱など）がありますと、誤動作の原因になります。センサー付近には物品を置かないようご注意ください。

温度センサー



(4) 時間外の空調運転

- ・時間外の空調をご希望の場合は、クラウド Web「アズビル Tenant Service」にて入力操作願います。
- ・空調の延長運転にかかる費用は「1分単位の従量制」となっています（単価×運転時間）。運転時間は中央監視システムによって自動的に記録され、この記録をもとに、1カ月分の使用時間を通算して費用を計算いたします。
- ・空調運転中（基準運転時間・時間外運転時間）に、外出等により一時的にセキュリティカードで警戒操作を行った場合、空調は自動的に停止となります。この後、再度警戒解除して入室しても、空調運転は自動的に復帰しませんのでご注意ください。空調を再起動されたい場合は、クラウド Web「アズビル Tenant Service」にて入力操作が必要になります。

(5) ブラインドの活用

- ・省エネ、および空調効果を維持するため、陽の当たる窓際は、適宜、ブラインドを降ろすようご配慮ください。特に夏季の東・南側の窓際は日射による室温上昇が著しいことから、退社時には、翌朝の空調効果を高めるためブラインドを降ろしてからお帰りください。

(6) 電気設備（電気製品）

- ・ビル内の全ての電気設備については、「電気事業法」の定めにより、電気主任技術者がその工事・維持・運用について保安・監督いたします。当ビルの電気主任技術者は、管理会社から選任委託されています。
- ・賃貸室内における電気設備の改修・変更、機器類の新設・変更の場合には、事故防止の観点から必ず事前に「工事申請書」を申請して、管理会社の承諾を受けてください。
- ・管理会社の事前承諾を受けずに行った改修、新設・変更工事等によって、事故またはビル設備等の汚・破損が発生した場合は、原因者に全ての損害を賠償いただきます。
- ・タコ足配線、床上露出配線、不良電気製品のご使用は、電気火災や感電事故防止の観点から厳禁いたします。また、電熱器や電気ストーブなどの使用も厳禁です。

(7) 標準照明不良の場合の対応

- ・貸室内の標準照明はオーナー資産になります。照明点灯不良等が発生した場合は、速やかに管理会社、または設備センターにご連絡ください。